

海外交流による人材育成

招へい者： Dagvadorj Ichinkhorloo (モンゴル国立大学)

招へい期間： 2008年11月18日ー2009年2月13日

訪問先： 北海道大学 大学院理学研究院 宇宙理学専攻 附属 原子核反応データセンター

こちら側担当者： 加藤幾芳

目的： モンゴルにおける若い核データ活動の担い手を養成し、核データ活動のモンゴルとの協力体制を創設することを目指す。

内容： D. Ichinkhorloo 氏が北海道大学原子核反応データセンターが3ヶ月間滞在し、学術誌に掲載された研究論文から原子核反応実験データを読み取って国際的原子核反応データベース EXFOR (EXchange FORmat) へ入力することを学び、実際に行って研修した。また、データベース化されたデータの評価を行う評価研究について参加し、学んだ。

これは、原子核反応データの国際ネットワークの一拠点として、アジア地域核データ・センターの構築をめざし、アジア地域の国の研究機関・研究者と積極的の交流を行ってきたことの一環である。

また、D. Ichinkhorloo 氏は H21.4月から北海道大学博士課程に入学することとなり、さらにこの分野の研究を続けることとなった。この成果に基づき、国立モンゴル大学と北海道大学との交流協定を締結することが話し合われ、具体的に進めることとなった。さらに、カザフスタンの原子核研究所とも交流協定を結ぶことが準備されてきた。